



生活習慣病・介護予防を目指す身体機能改善に関する研究

[キーワード：身体機能，動脈機能，身体活動，電気刺激]

教授 三浦 哉

<研究の概要>

近年の生活習慣病罹患/要介護者の増加は，医療/介護保険費といった社会保障費の増加をもたらしている。このような状況の中，生活習慣の改善による予防の重要性が叫ばれている。

本研究では，身体活動，栄養，睡眠などの生活習慣と身体機能，特に動脈機能との関係について研究を進めている。主な研究テーマは以下のとおりである。

①運動習慣と動脈機能との関係

動脈硬化を予防/治療するために有効な中高齢者の運動プログラムの開発

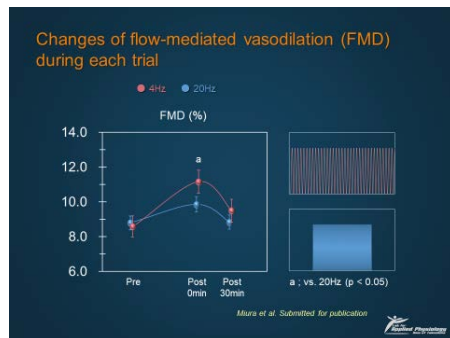
②他動的運動が身体機能に及ぼす影響

骨格筋電気刺激/電動アシストシステムが，身体機能，特に動脈機能に及ぼす影響を検討

③生活習慣病の予防のための抗酸化物質の有効性

断眠，喫煙などの生活習慣に対するビタミンC/D等が動脈機能に及ぼす影響を検討

特に①，②は，生活習慣病/介護予防という視点から，さらに，リハビリテーションの観点からも，学術的意義のみならず，社会的意義も大きいと考えられる。



<主要研究業績>

- ・田村，三浦他 (2017) レペティション形式の有酸素性運動が血管内皮機能に及ぼす影響，体力科学，66，437-444
- ・三浦 (2016) 動脈硬化と運動療法・スポーツ，成人病と生活習慣病，46，723-727
- ・Miura H et al. (2015) Effects of exercise training on arterial stiffness in older hypertensive females, Eur J Appl Physiol, 115, 1847-1854
- ・Miura H (2013) Clinical Application of NIRS, Application of Near Infrared Spectroscopy in Biomedicine, Springer, Jue T & Masuda K ed, 59-74

<地域，NPOや企業との連携・共同研究実績>

- ・生活習慣病対策としての動脈機能評価方法の開発，株式会社ユネクス (共同研究)，2007年度
- ・乳房代謝を非侵襲計測する方法の研究，日立メディカル株式会社 (共同研究)，2005年度
- ・中高齢者の健康づくり事業，徳島県内自治体 (受託研究)，2001~継続

<地域，NPOや企業と連携・共同研究可能なテーマ>

- ・生活習慣病・介護予防に関連した健康づくり事業
- ・電気刺激による他動運動システムの開発

専門分野：応用生理学 (運動生理学，医用生体工学)

E-mail: hajime-m@tokushima-u.ac.jp

Tel: 088-656-7288

Fax: 088-656-7288

HP: <https://www.facebook.com/Applied-Physiology-112740515529464/>

詳細情報: <http://pub2.db.tokushima-u.ac.jp/ERD/person/60558/profile-ja.html>

